

昭和大学附属烏山病院だより

あおぞら

〔発行責任者〕 病院長 真田 建史

〔編集責任者〕 広報委員長 真田 建史

〔住所〕 〒157-8577 東京都世田谷区北烏山6-11-11

〔電話〕 03-3300-5231(代表)

第204号

[2024年8月1日発]

B3 病棟 作業療法『リボーン』

作業療法室 熊谷 なつめ

4月26日から、B3病棟では新しいプログラムが開始しました。その名も『リボーン』です。参加者(以下、メンバー)とプログラム名を一緒に決めました。リボーンには「生まれ変わること・再生」という意味があり、提案したメンバーは「自分達も社会に戻って行く」という意気込みで決めました。このプログラムでは従来烏山病院の作業療法で行われていた内容と異なり、それぞれが行動の責任を取ることを経験しながら、学習として積み重ねて、社会生活に戻る準備を行います。

今回は7月5日に行った第2回調理について紹介します。調理についても単身生活の中、一人で同じようにできることを目標にして行っています。第2回調理では「パスタ」に決まり、味決めや必要な物品なども事前にプログラムの中で相談をしています。実施前の週に、買い出しも外出可能な方達の中から5名のメンバーが希望されてスタッフと一緒にきました。スーパーでの支払いはセルフレジが多く、初めて行うメンバーもいましたが皆で協力しながら行えています。商品が見つからない時にも店員の方に聞いたりして対応もとれていました。全て、見守り下において、メンバーが主体的に行動しました。調理の時もイレギュラーなことが起こる場面もありますが、それぞれが責任をもって行動し、他者と協力しながら取り組むことができました。完成した料理を病棟スタッフにも味見していただきました。まだ始まったばかりのプログラムですが、これから皆様には温かく見守って頂けたらと思います。



看護部 対面式研修

C3 病棟 山本猛

6月下旬に、今年度1回目の看護部教育委員会主催の研修が開催されました。新入職員から責任者の方々まで、幅広い層の看護職員に参加して頂き、誠にありがとうございます。

ここ数年の教育活動は、役割研修や専門性に特化した内容に焦点を絞り、個々のスキル向上を図る支援をしていました。またコロナ禍の影響もあり、参加人数の縮小、eラーニングによる研修が増えています。今年度は、個々の自己研鑽に繋がる支援として、習熟度に応じた段階別の研修になっており、精

神科看護の基礎内容も多く取り入れています。また、チーム医療の理解を深める内容として、他職種の方を講師に招いた研修を順次予定しています。ここ数年 e ラーニングが主流になり、場所や時間を問わず学習できるメリットがありますが、講師や参加者同士のコミュニケーションがとりにくい事で、学習へのモチベーションが維持しづらいデメリットがあります。対面式研修は直接コミュニケーションがとれることで、その場で疑問を解決でき、またグループワークやロールプレイなど集団研修ならではのスタイルが可能で、更なる学びを深めることができます。また、自ら研修に参加することで、学習へのモチベーションが高まると考えます。

他部署の方でも研修参加大歓迎です。ご興味があれば C3 病棟山本までご一報お願い致します。

依存症家族会について 精神医学教室 准教授 常岡 俊昭

烏山病院はアルコールを始めとする依存症一般にも力を入れていて薬物依存症・ギャンブル障害の拠点病院です。当院の依存症治療の特色としては自助グループや当事者団体との顔の見える密な関係性があります。依存症に限らず精神疾患は家族が仲間をもって健康的になり毎日を楽しく過ごす事が非常に重要です。当院では月一回ずつアルコールを始めとする物質関連の家族会と、ギャンブル障害の家族会をそれぞれ開催しています。「家族が元気になることで健康が当事者にも伝わると良いな」と思っています。

アルコール薬物：家族相談会は、アルコールや薬物依存症患者のご家族・パートナー・ご友人・支援者を対象とした相談会です。外部の家族会に参加している、当事者家族である先行く仲間が来院し、毎月第3金曜日の18時～セミナー室で開催しています。内容は自己紹介・メッセージ(30分間)・質疑応答(30分間)で構成されています。依存症の治療には、当事者の回復と同じぐらい、身近で支える方の回復も大切です。この会は、その一助になればという思いから今年4月に始動し、すでに17名のご家族が参加しています。できて間もない取り組みですが、参加した方からは「次も楽しみにしています！」という嬉しい言葉をいただいております。関わっているスタッフ自身も、日々の関わりや出来事を見つめ直す貴重な時間だと感じています。患者様のご家族はもちろん、当院医療者のご参加もいつでもお待ちしております☺☺ (A3：奥津・徳永)

ギャンブル障害：ギャンブル依存症家族会院内ミーティングは全国ギャンブル依存症家族の会のメンバーが主催しており、毎月第二金曜日 19時～開催しています。依存症治療はギャンブル依存症の当事者だけではなく、家族も治療の対象で家族の回復が必要不可欠と言われていています。家族会は、一人で悩まず、正しい知識を身につけるため当事者との関わり方や借金問題についてなど家族が抱えている悩みを相談し、問題解決に向けて考えていくことができる場です。

参加者は全員ギャンブル依存症の問題で悩んでいる家族です。多いときは50人近くの家族が集まります。烏山病院のスタッフも参加し、院内での状況も伝えながら家族や家族会とも連携を図っています。家族会って聞いたことはあるけどどんな所なんだろう…といった家族の方や医療者の方、いつでも参加お待ちしております。(A3：西田)



ご意見フォームについて

事務課管理係

【ご意見フォーム開設のお知らせ】

当院ホームページ内に、ご意見フォームを設置いたしました。

病院での患者サービス向上に役立てるため、患者さん・ご家族などからのご意見を受け付けております。

昭和大学附属烏山病院ホームページトップ → 病院のご案内 → ご意見フォーム

※下記 QR コードからアクセスができます。



ご意見・ご要望	回答
クレジットカードなどのキャッシュレス支払いに対応をしていないので対応をしていただきたいと思います。	ご意見をいただきありがとうございます。 受付、会計時にお待たせしており、大変申し訳ございません。
受付機を導入してほしい。会計をクレジットカードで払えるようにしてほしい。会計の待ち時間が長いので短縮してほしい。	受付機の導入、精算の電子化・クレジットカード対応については、対応機器やシステムの導入も含めて検討させていただきます。
会計精算の電子化を希望しています。会計の待ち時間が非常に長く、現金以外の支払いもできません。電子決済できる仕組みを取り入れていただけませんか。	
トイレに温水洗浄便座をつけてほしい	ご意見をいただきありがとうございます。 温水洗浄便座の設置については、患者さんからのご要望があることを踏まえ、対応を検討してまいります。



今回、ゲームサークルについて概要と参加した感想を述べます。

ゲームサークルはデイケア内の一室を使い、毎週木曜 12:30~13:30 の枠で、Nintendo Switch や、P S 4 などのテレビゲームを行っています。

大乱闘スマッシュブラザーズ SPECIAL をやっていることが多く、月一程度で行われているポケモン交流会や、スプラトゥーン3、ストリートファイター6 などを行うこともあります。

どのゲームを行うかや、次回の予定などは部屋の入口に掲示し、見学の方や、普段参加していない方も参加しやすいようにしています。

また、プログラムが終わった後にも雑談やゲームをする二次会のようなものが、場所を移して行われています。

私は、このサークルに参加してから普段一人でゲームをすることが多かったのですが、ゲームの話や、マルチプレイ、対戦などをする仲間ができ、ゲーミングライフがより充実し、普段の楽しみも増えました。

是非皆さんも趣味を共有できる仲間をつくることをお勧めします。



総合サポートセンター

～受診・入院のご相談～

受付：月曜日～金曜日・8時30分～17時
 土曜日 8時30分～13時
 電話：月曜日～金曜日 03-3300-5329
 土曜日 03-3300-5231
 ◎初診受付：月曜日～金曜日・8時30分～14時
 土曜日 8時30分～12時
 ◎休診日：日曜日・本学創立記念日・年末年始

《6月》	入院(前月)	外来(前月)
◆延患者数	8,299(8,573)	6,564(6,967)
◇一日平均患者数	276.6(276.5)	262.6(290.3)
◆診療実日数	30(31)	25(24)

広報委員会では、皆様のご意見ご感想をお待ちしております。連絡先は k-kouhou@ofc.showa-u.ac.jp となります。

こちら当院のホームページのQRコードとなります。



【編集後記】

7月に入り、暑さも厳しい日々が続いていますね。驚くことに、全国でも気温が40度を超す予想も出ており、今年の夏はまだまだ暑くなるそうです。

このように日差しが強い日は、最近では必ずと言っていいほど夕立が降るので、毎日いつ洗濯物を干すべきか悩んでいます。これだけ暑いと一瞬で洗濯物も乾くので気持ちがいいものですが。暑い天気と上手に付き合っって夏を乗り越えていきたいものですね。

(広報委員 今村)

